

深・魅力通信

各校をつなげる学園カリキュラム（特別支援編）

昨年度みんなで作成し、本年度から活用している袋井あやぐも学園の教科外カリキュラムを検討しました。各校の実践を持ち寄って検討したり、アンケートの数値を手掛かりにして新たな仕掛けを考えたりしました。

特別支援の学園カリキュラム検討委員会では、喫緊の課題である幼小中を繋いだ切れ目のない特別支援教育の実現について考えました。そして、会では、この考え方を具現化した袋井あやぐも学園統一の「**個別の教育支援計画**」と「**個別の指導計画**」について検討しました。

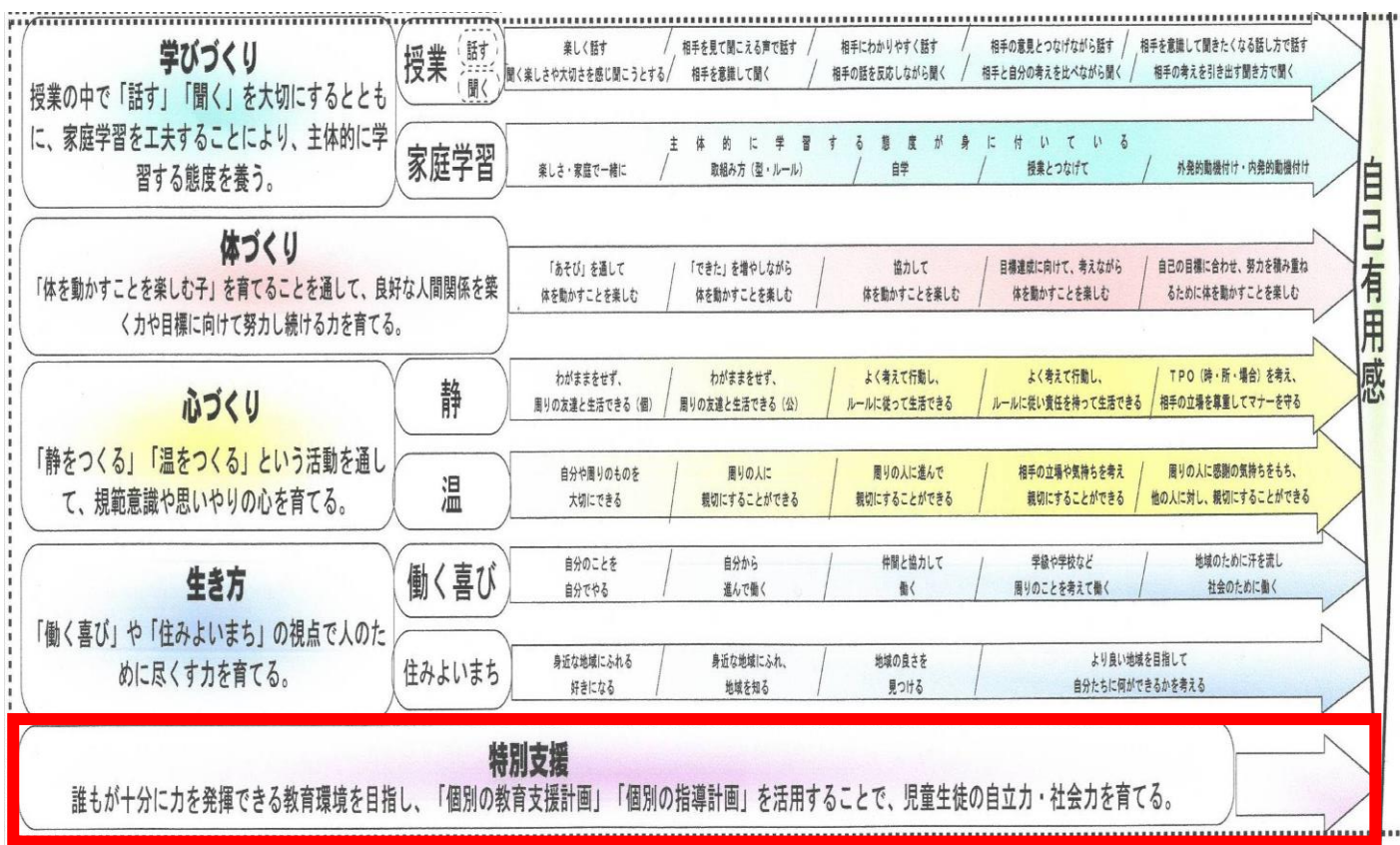


これまで、袋井あやぐも学園では、各校によって「個別の支援計画」と「個別の指導計画」のひな型や記入内容が異なっていました。そのため、幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へと伝えたい情報が伝わりずらく「ねらい」をそろえることが難しかったのに加えて、

「個別の支援計画」と「個別の指導計画」を自校の型式に書き直すなどの手間がかかっていました。これらを書き直す中で、必要な情報が抜けおちてしまったり、必要な情報を得るために聞き取り調査を繰り返さなくてはいけなかったりしました。そこで、特別支援のカリキュラム検討委員会では、**必要な情報が幼小中へと確実に伝わって「ねらい」が繋がり、先生方の労力軽減になるよう**、袋井あやぐも学園統一の「個別の支援計画」と「個別の指導計画」を作成しました。

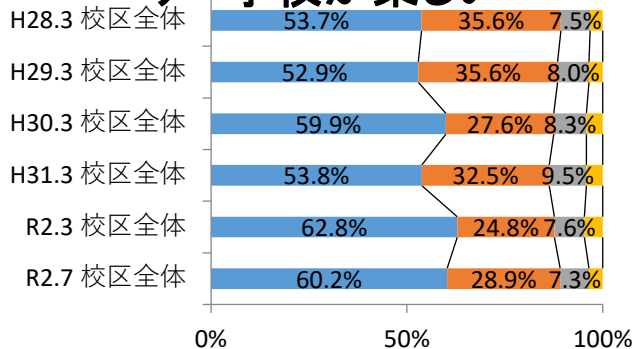
会では、「『将来の夢』の記入欄は、『願い→進路希望→取組』となっているが、ゴールを明確にして取組を考える必要があることから、『進路希望→願い(今、今後、ここ1、2年)→取組』と変更した方が良いのではないか。」「『合理的配慮』は法的にも記入が義務付けられています。その例を示したほうが良いのではないか。」などの意見が出され、より良い「個別の支援計画」「個別の指導計画」にするための模索が続いています。

「個別の支援計画」「個別の指導計画」をそろえて繋げることで、**幼小中を繋いだ切れ目のない特別支援教育を実現**しようとしています。

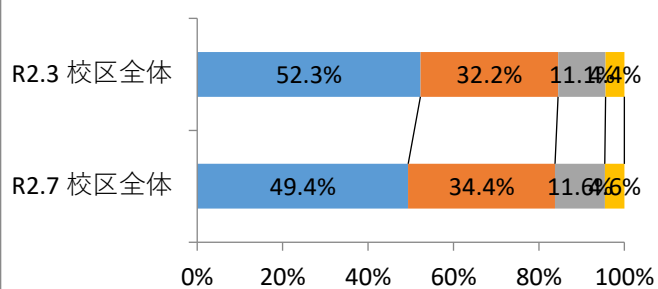


令和2年度7月のアンケート結果

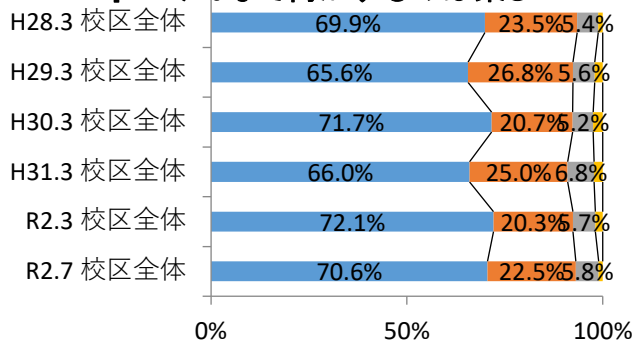
ア 学校が楽しい



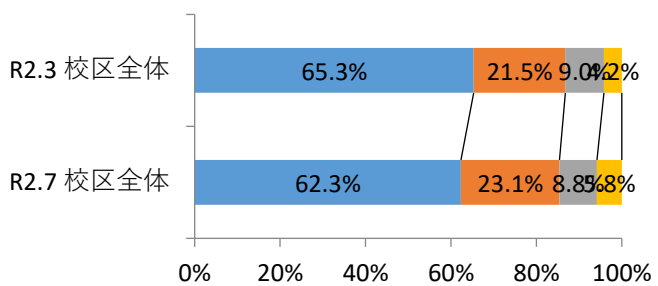
オ 家庭学習に主体的に取り組んでいる



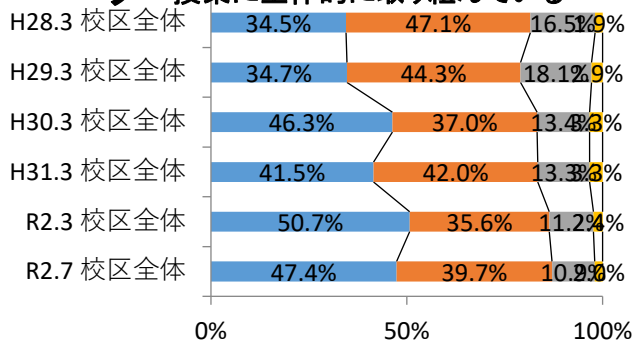
イ みんなで何かするのは楽しい



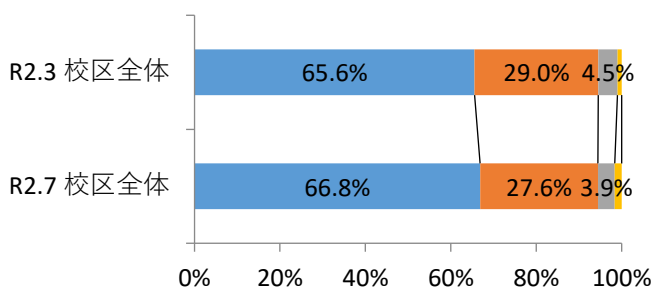
カ 体を動かすことが好き



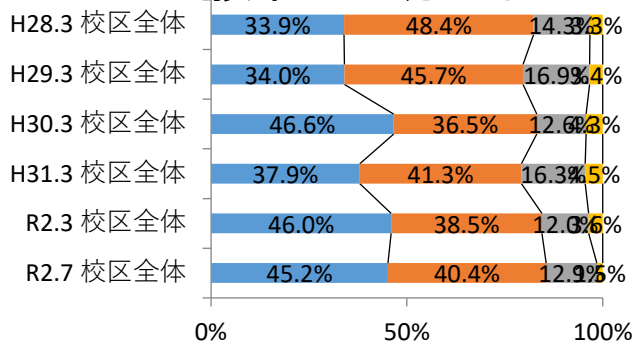
ウ 授業に主体的に取り組んでいる



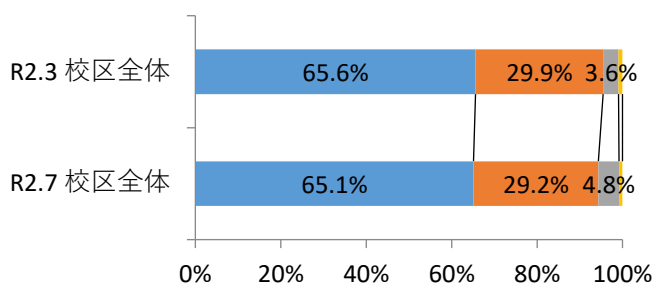
キ 学校のきまりを守って生活している



エ 授業がよく分かる



ク 思いやりの気持ちをもって生活している



〈カリキュラムの分析に使うアンケートの項目〉

学びづくり……ウエオ

生き方……ア(他も活用)

体づくり……アイカ

心づくり……キク

特別支援……アイウエ

授業づくり……教師アンケート